

第424回（臨時）福崎町議会会議録

平成21年7月23日（木）

午前9時30分 開 会

1. 平成21年7月23日、第424回（臨時）福崎町議会は、福崎町役場に招集された。

1. 出席議員 15名

2番	牛 尾 雅 一	10番	石 野 光 市
3番	宮 内 富 夫	11番	小 林 博
4番	釜 坂 道 弘	12番	東 森 修 一
5番	福 永 繁 一	13番	富 田 昭 市
6番	志 水 正 幸	14番	北 山 孝 彦
7番	難 波 靖 通	15番	高 井 國 年
8番	広 岡 史 郎	16番	宇 崎 壽 幸
9番	吉 識 定 和		

1. 欠席議員 1名

1番 松 岡 秀 人

1. 事務局より出席した職員

事 務 局 長 中 塚 保 彦 主 査 澤 田 和 也

1. 説明のため出席した職員

町 長	嶋 田 正 義	副 町 長	橋 本 省 三
教 育 長	岡 本 裕	技 監	樋 口 和 夫
会 計 管 理 者	牛 尾 敏 博	総 務 課 長	尾 崎 吉 晴
企 画 財 政 課 長	近 藤 博 之	税 務 課 長	山 口 省 五
住 民 生 活 課 長	松 岡 英 二	健 康 福 祉 課 長	高 松 伸 一
ま ち づ くり 課 長	志 水 利 雄	産 業 課 長	井 上 茂 樹
下 水 道 課 長	後 藤 守 芳	水 道 課 長	豊 國 明 紀
社 会 教 育 課 長	山 下 健 介	学 校 教 育 課 長	志 水 清 二

1. 議事日程

第 1 会議録署名議員の指名
第 2 会期の決定
第 3 諸報告
第 4 議案上程・議案説明
第 5 質疑
第 6 討論・採決

1. 本日の会議に付した事件

日程第 1 会議録署名議員の指名
日程第 2 会期の決定
日程第 3 諸報告
日程第 4 議案上程・議案説明
日程第 5 質疑

日程第 6 討論・採決

1. 議案件名

議案第 49 号 平成 21 年度福崎町一般会計補正予算（第 1 号）

1. 開会及び開議

議

長 皆さん、おはようございます。

第 424 回福崎町議会臨時会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

うとうしい梅雨がなかなか明けず、蒸し暑い日が続いていますが、議員各位におかれましては、本日は早朝よりご健勝にてご参集を賜り、まことにありがとうございます。

さて、本臨時会に付議されます案件は、平成 21 年度福崎町一般会計補正予算（第 1 号）についての議案 1 件であります。

何とぞ議員各位には格別のご精励を賜り、慎重審議の上、適正妥当なる結論づけが得られますようお願いいたしますとともに、議事の円滑なる運営につきましても格別のご協力をお願い申し上げます。開会のごあいさつといたします。

また、議場のマイク設備改修のため、議員並びに理事者各位には、多大なご迷惑をおかけしますが、何とぞお許しの上、ご協力よろしくお願い申し上げます。

ただいまの出席議員数は 15 名でございます。定足数に達しております。

よって、第 424 回福崎町議会臨時会が成立したことを宣告いたします。

これから本日の会議を開きます。

なお、本日の議会に、松岡議員から欠席届が提出されておりますことをご報告申し上げます。

日程第 1 会議録署名議員の指名

議

長 日程第 1 は、会議録署名議員の指名であります。

会議録署名議員は会議規則第 120 条の規定により、議長が指名をいたします。4 番、釜坂道弘議員、12 番、東森修一議員、以上の両君をお願いいたします。

日程第 2 会期の決定

議

長 日程第 2 は、会期の決定であります。

会期の決定の件を議題といたします。

お諮りをいたします。

先刻、議会運営委員会を開いて検討をお願いしましたところ、本日 1 日間という結論を得ております。

よって、本臨時会の会期は本日 1 日といたしたいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議

長 ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日 1 日とすることに決定をいたしました。

日程第 3 諸報告

議

長 日程第3は、諸報告であります。

第423回定例会以降、本日までの主要事項について、日付順にご報告申し上げます。

事務局から朗読し、報告させます。

書

記 6月28日、市川町立川辺小学校において、神崎郡消防操法大会が開催され、議長、副議長並びに民生常任委員長が出席をいたしました。

7月1日、議会運営委員会を招集し、6月議会の反省等を協議しました。

7月6日、加古川プラザホテルにおいて、播磨地方拠点都市地域市町議会協議会総会が開催され、議長が出席をいたしました。

7月7日、姫路キャッスルホテルにおいて、西播磨市町議会議長会第1回役員会並びに総会が開催され、議長が出席いたしました。また、同日、エルデホールにおいて、「社会を明るくする運動」神崎郡住民大会が開催され、議長が出席をいたしました。

7月8日、クラウンプラザ神戸において、地方の元気回復対話交流会が開催され、議長が出席をいたしました。

7月12日、福崎小学校において、福崎町子ども会球技大会が開催され、議長が出席し、あいさつを述べてまいりました。

7月13日、全員協議会を招集し、国の緊急経済対策の対応について協議いたしました。また、同日、議会広報編集委員会を招集し、議会だより第111号の編集を行いました。

7月14日、ホテル北野プラザ六甲荘において、市町議会議員公務災害補償組合議会臨時会並びに町議会議長会評議員会が開催され、議長が出席をいたしました。また、同日と15日、ホテル北野プラザ六甲荘において町議会議長研究会が開催され、議長が出席いたしました。

7月15日、愛知県扶桑町から、福祉政策について行政視察があり、議長が出席し、説明いたしました。

7月16日、介護保険運営協議会が開催され、議長並びに民生常任委員長が出席をいたしました。

7月17日、兵庫県公館において、兵庫県地方分権推進自治体代表者会議が開催され、議長が出席をいたしました。また、同日、神河町役場において神崎郡民主化推進連絡協議会総会が開催され、副議長が出席をいたしました。また、同日、播磨中部高原森林基幹林道推進協議会定期総会が開催され、副議長と産業建設常任委員長が出席いたしました。

7月19日、原水禁反核平和網の目大行進団が来町され、議長がメッセージを送りました。

7月20日、姫路港において、海の日記念式典・港と船のミュージアム拡大展示オープンセレモニーが開催され、議長と副議長が出席いたしました。

7月22日、スポーツ公園において、福崎町老人ゲートボール大会が開催され、議長並びに民生常任委員長が出席をし、あいさつと始球式を行ってまいりました。

7月23日、本日でございますが、先ほど、議会運営委員会を招集し、第424回福崎町議会臨時会の運営について協議いたしました。

以上です。

議

長 以上で諸報告を終わります。

議 長 日程第4は、議案の上程であります。
議案第49号、平成21年度福崎町一般会計補正予算（第1号）についてを議題といたします。

これから上程議案に対する町長の提案理由の説明を求めてまいります。

町 長 第424回福崎町議会臨時会を開催いたしましたところ、そろってご参加をいただきましてありがとうございます。

梅雨は、全国各地に大変な雨をもたらしております。特に山口県におきましては、大被害が出ているわけでございます。本町においても、雨が降りましたけれども、そんなに大きな被害は報告をされてはおりません。皆様方におかれまして、そんなには被害がなかったのではないかと、このように思います。

さて、本議会を招集いたしましたのは、国の方で緊急経済対策の予算が確立をいたしております。この緊急という課題からいたしますと、9月議会まで待つというわけにはまいりませんので、この対応をいち早く取り組みまして、皆様方のご承認を得て、執行させていただきたい、こういう思いで今回の議案を提案させていただいているわけでございます。

内容につきましては、担当課長が申し述べますので、十分ご審議の上、ご賛同賜りますようお願いを申し上げます。

議 長 ただいま町長から上程議案の概要の説明が終わりましたので、これから詳細なる説明を求めてまいります。

それでは、議案第49号、平成21年度福崎町一般会計補正予算（第1号）について、事務局に朗読させます。

（書記朗読）

議 長 朗読が終わりましたので、さらに本案に対する詳細なる説明を担当課長から求めてまいります。

企画財政課長 失礼をいたします。

議案第49号についてご説明申し上げます。

平成21年度一般会計補正予算（第1号）につきましては、本年4月10日に閣議決定された経済危機対策の実行予算として成立をいたしました国の補正予算（第1号）に合わせて、本町として地域経済活性化のために速やかに取り組むことが可能な事業について所要額を予算計上するものでございます。

また、直近にいただきました指定寄附金についてもあわせて予算計上をしております。

本補正予算案のうち、経済対策に係る財源につきましては、各省庁所管の事業補助金に加えて、このたびの経済危機対策における公共事業等の追加に伴う地方負担の軽減を図り、国の施策と歩調を合わせ、地域における公共投資を円滑に実施することができるようにとの趣旨で交付されます地域活性化公共投資臨時交付金並びに各団体で地域の実情に応じるきめ細かな事業を積極的に実施できるようにとの趣旨で交付される地域活性化経済危機対策臨時交付金などを活用いたします。

なお、これらの臨時交付金の概要につきましては、資料の1ページから3ページにお示しをしておりますので、ご参照いただきたいと思います。

それでは、議案に沿ってご説明を申し上げます。

第1条の歳入歳出予算の補正につきましては、既定の歳入歳出予算の総額に2億170万円を追加し、補正後の予算総額を68億4,470万円とするものでございます。

歳入歳出予算補正の内容につきましては、事項別明細書でご説明を申し上げます。

(以下、事項別明細書朗読説明につき省略)

企画財政課長 以上が一般会計補正予算(第1号)の内容であります。本補正予算案に計上いたしました以外の経済対策事業等につきましては、経済危機対策臨時交付金の残額3,326万3,000円及び今後配分が決定いたします公共投資臨時交付金の残額並びに各省庁の補助金等を活用いたしまして、今後予算計上していきたいと考えております。

以上、議案第49号の説明とさせていただきます。よろしくご審議賜り、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。

議長 以上で、提案議案に対する説明が終わりましたので、次の日程に進みます。

日程第5 質疑

議長 次の日程は、議案に対する質疑であります。

それでは、議案第49号、平成21年度福崎町一般会計補正予算(第1号)について、ご質疑がございましたらどうぞ。

5 番 緊急経済対策として、東大貫中島線の舗装工事が2,630万円計上されております。この補正予算で舗装をする緊急性はあるのか聞きたいと思っております。

まちづくり課長 町道東大貫中島線は、国道312号と主要県道三木穴栗線を結ぶ幹線道路として重要な路線であり、また町内工業団地や播但連絡道、中国縦貫道へのアクセス道路となっております。近年の大型車通行量の増大により、路面状況が悪化したため、安全な交通の確保のため、早期の舗装打ちかえを実施し、通行の円滑化を図るために、今回補正に計上させていただいたものでございます。

5 番 理由はわかるわけですが、重要性等を言われるならば、ほかの道路もあるし、私、きょう朝、現場の道路を走ってきたんですけれども、農協の前の方の道路も傷んでいるし、東田原にも、西田原にもそういう道路があります。なぜこの道路に限定されたのかお伺いします。

まちづくり課長 この道路につきましては、平成17年、18年と、計画的にこれまで舗装の打ちかえを行ってきました。この箇所についても、引き続き実施したかったんですが、なかなか財源的な制約もあり、今回、国において経済対策が講じられる趣旨を踏まえて、また事業の実施に伴う費用負担に対して手厚い財政措置が講じられたことも考慮し、補正予算に計上したものでございますが、今言われました他の路線についても路面状況の悪いところはございますが、全体的に、緊急度を見ますと、今回計上させていただいた箇所が、わだち、そしてそういった路面の状況から危険性が高い、緊急度が高いということで今回計上したものでございます。

5 番 個別にそういうふうにと考えると、いろんなことが考えられるわけです。だから、そのときだけじゃなしに、今回、なぜこの道路を選ばれたのか、次の補正予算でもよかったん違うかなということも考えられますし、根拠として、ほかの道路で傷んでいる道路もありますし、これに固執されるということは、何か大きな理由があったのかなと思って質問していますから、その点についてどうですか。

まちづくり課長 やはり緊急性が高い、早期に実施しなければならない箇所である。前々から、この箇所について継続的に早くやりたかった箇所ではありますが、実施時期、提案が今回になったというものでございます。

5 番 それは、わかるわけですが、ほかの道路にしても、今の考え方は同じだと思います。ですから、一部を集中的に見るのやなしに、大きな視野で目を見開

いていただき、福崎町の安全・安心の道路ということで、今後も大きな目で検討していただきたい、このように考えます。

まちづくり課長 当然、他の路線につきましても、道路の通行の安全というのは第一でありますし、道路瑕疵事故があってはならないものでありますので、特に舗装につきましては、十分パトロールもし、路面の状況を把握しながら、緊急性の高いところから順次施工してまいりたいと思っております。

議 長 ほかにございませんか。

2 番 辻川界限活性化及び三木家住宅活用事業についてお聞きします。

この事業は、260万円を充ててされているんですけども、三木家活用基本構想を神戸大学と連携して作成とのことですが、辻川界限活性化と三木家活用の事業の一体事業という意味は、どういう意味でしょうか。

社会教育課長 辻川界限活性化事業としておりますが、辻川界限は第4次総合計画では歴史文化資源の保全・活用核として位置づけております。また、教育委員会でも町の文化や歴史教育の拠点として振興を図っておるわけでありまして。その中で、大庄屋三木家というのは、その中心的な文化財資源というような形で両事業を一緒の形で計上させていただいております。

2 番 それで、辻川山公園周辺のエコアップ事業という内容がもうひとつわかりにくいんですけども。

社会教育課長 辻川山公園周辺エコアップ事業ということで、具体的な事業を申し上げますと、まず、いろんな団体にも協力をしていただきまして、公園内に池があるかと思っております。その池の浄化を今考えております。そういう中で、浄化を具現化していきたいというようなものが一つでございます。

もう1点は、すぐ横に、沼地等がございます。その沼地を整備しながら、ビオトープといいたいでしょうか、生き物がいるのまま生息するような、ホタルはどうかかわからないんですけど、トンボとか、そういった水生生物が生きるようなところをつくればと考えております。

もう1点は、短歌の森でございます。短歌の森につきましては、辻川区等で整備いただいておりますが、そういったところも、もう少し整備しながら、例えば、そのビオトープ化というような形で、カブトムシが生息できるような、そういったところにも考えていけたらと考えております。

2 番 池は今すごく濁っているということで、きれいにしていただいて、小さい子どもが、おりて水を触るといいますか、そういうことまではできないでしょうか。

社会教育課長 池については、ああいう形態ですので、子どもが触れるということは非常に危ないかと思っております。

ただ、先ほど説明しましたように、ビオトープ化ということで沼地の方につきましては、そういった生き物が観察できるような、水生生物といいたいので、水辺みたいな空間がもしできればとは考えております。

議 長 ほかにございませんか。

1 3 番 私の方からは、緊急雇用対策費についてお尋ねいたします。

このたび700万円の緊急雇用創出事業といたしまして計上されております。これにつきましては、世界的な景気の落ち込みで、国内の雇用対策の悪化、また昨年暮れからの非正規労働者の解雇とか、あるいは雇いどめの動きが加速いたしまして、中高年齢者の失業も増加するなど、深刻な事態になったわけでございます。そういう中で、特に再就職支援策として、緊急雇用創出事業の創設を要請いたしまして、2008年度に第2次補正予算で実現いたしました。この金額が全国では3,000億円となっております。我が町におきましては、上段に書い

てありますように、平成21年から23年度という形で、今回は2,750万円ですか、予算化されておりました、そのうちの700万円が今回の事業で使われるというふうになっております。

そこで、この図を見てみますと、新規雇用の予定者数といたしまして、これは先ほども話が出ていましたけれども、辻川山公園の周辺のエコアップ事業といたしまして、これは社会教育課の方で、2カ月間で9人の雇用をして実施すると出ております。そして、以下、シルバー人材センターに委託をいたしまして、1カ月に5人とか、あるいは2カ月で3人という形で計上されているわけですが、これにつきまして、このたびの緊急雇用創出事業というのは、先ほど冒頭に申し上げましたように、非常に現役の方々が失業されて、次の雇用までのつなぎとしての、対策費ではないかなという感じがいたしますが、その点についてのお考えの説明をお願いしたいと思います。

産業課長 緊急雇用創出事業につきましては、今議員も言われましたように失業者、また高齢者、障害者等の雇用につきまして、新しい事業を創設し、雇用をしていくということでございます。シルバー人材センターにお願いするというような事業が多いわけですが、緊急的な対応の中で、福崎町といたしましても、各課等にご案内し、その中で上がってきた事業でございます。

1 3 番 シルバー人材センターに委託するという事は、人材センターに丸投げのような感じがするわけです。人材センターの方では、たしか65歳以上ですか、登録されている方は。そこをお願いしますと、一般の、そういう就労されてきた方が一線を終えて、そして自分の余暇を何とか仕事をしながら取り組んでいこうという方が多いと思うんです。そういう方々に職を与えて、実際に困っている方に仕事が出ないとなりますと、非常に問題になるかと思うんですけれども、シルバー人材センターに委託しますと、どういうメンバーが職につかれるんでしょうか、その辺のご答弁をお願いいたします。

産業課長 議員が言われますように、一般の方の雇用をすれば一番いいわけですが、この中に上がっております、福崎町といたしまして今現在創設した、新しい事業につきましては、このような内容でございまして、こういう中におきましては一般の方が2カ月、1カ月という形の中では、雇用していただければいいんですけれども、一般の方が半年ぐらい、6カ月ぐらい、長く雇用できればいい状態なんですけれども、事業といたしましてはシルバー向きというんでしょうか、そういう事業が多いという中でシルバーにお願いするわけですが、シルバー人材センターにつきましては、60歳以上の方々が構成されておまして、21年度の新規入会者は20名という中に、男性が16名、女性が4名ということで、その方々にお願いする形になるかと思っております。

1 3 番 そこで、この金額を見てみますと、全体といたしまして、延べ人数、1カ月で計算しますと22名になるわけです。そうなりますと、700万円を割ってみますと、単純に計算したわけですが、一番上の2カ月雇用で9人、これは、単純計算ですよ、20万5,000円ぐらいになるわけです、1人頭が。そして、この金額が約370万5,800円という形になっていきます。そして、以下、人材センターにおきましても単純に計算しますと25万5,000円を割っていきますと、1カ月間雇用につきましては、102万9,400円とか、2カ月間の6カ月におきましては123万5,292円というような形の数字が出てきて、それらを含めると約700万円の金額になるわけですが、シルバー人材センターに所属されている方は年金を受給されている方とか、そういう方が主な方ばかりではないかなという感じがするわけです。そうなりますと、今回の緊急

の雇用創出事業におきましては、最大でもって半年間雇えると思うんですけども、その辺について、今回は一、二カ月で切っているわけですが、この辺の設定については、どのように考えて設定されたんですか。

産業課長 今議員が言われましたように、半年、長い期間の事業が組めればいいわけですが、町といたしましても緊急的な措置ということで、各関係課に問い合わせし、新しい事業として創出されたものが現在、21年度ではこのような事業でございます。当然、単年度だけで済む事業ではございませんので、そういう中で予算的に余ってくれば、次の年に繰り越ししてまた使っていくというわけでございます。また来年度につきましても、新しい事業を考えながら、新年度につきましましては今後考えていきたいと考えております。

1 3 番 ですから、今回は2,750万円のうちの700万円だけを計上いたしまして、残っている金額が2,050万円残っているわけです。そうなりますと、今回の事業の期限が23年度末、これ3月末になると思うんです。そうなりますと、あと1年間で、2,050万円を使おうと思えば、また非常に大きな事業をしなければならぬと思うんです。その辺は前向きに考えているんですか。

産業課長 当然、前向きに考えております。

全体で2,750万円のうち、本年度700万円ということで、当初ですので、3分の1程度で予算を組ませていただきました。当然、ほかにも新しい事業が出てきますと、その辺の調整を図っていきながら進めていきたいと考えております。

1 3 番 特に、今回はシルバー人材センターとか、そういう高齢者に目線を当てて、計画しているわけですが、現在におきましては、若者の引きこもりとか、あるいは先ほども話がありましたように、働く場をなくした方々、もっとそういう方の相談を受けて、そしてしっかりとそういう方々に職を与えていくと、そういうきっかけをつくることによって、定職にもつけるんじゃないかなという感じもするわけです。ですから、私はこれをきっかけに、より多くの方々が定職につけるような、そういう足がかりにしてもらいたいと思っています。

今回の緊急事業におきましては、いろいろと言われてはいますが、人材の確保とか、あるいは今人材高度化が強く社会から要請されているわけです。そういう中におきまして、介護とか、福祉、あるいは子育て、医療、教育等におけるところまで、重点的に雇用の創出をしていかなければいけないんじゃないかなと思います。その辺については、どのようにお考えですか。

産業課長 時期的におきましても、緊急雇用につきましましては、各市町の中で検討を加えられており、事例も出てきている状況でございます。各市町の事例も把握しながら、今後の事業展開を図っていきたくて考えております。

1 3 番 極力、このような対策費を、町におきましては、全額使い切って、そして地域の活性化、地域の雇用対策を十分にさせていただけるようお願い申し上げまして、私の質問を終わります。ありがとうございました。

議長 ほかにございませんか。

6 番 私からは議案第49号について質問させていただきます。

このたびの補正予算につきましましては、国が過去最大の15.4兆円の補正予算を地球温暖化、あるいは少子・高齢化対策、安全・安心の実現、その他地域の実情に応じた事業の実施という形で、地域活性化、経済危機対策臨時交付金を創設されたことによって、本町もその趣旨によってこのたび2億円余の補正予算を計上されましたが、その事業内容が、国が意図する経済危機対策に合致するものと考えておられるのかどうか、まずお尋ねしたいと思います。

企画財政課長 まず、国の施策に合致しているかどうかというところでございますけれども、

今回の補正予算に計上いたしました内容につきましては、ご指摘の、いろんな分野にわたっております国の経済対策の中で、速やかに取り組むことができるものを計上しております。今後、まだ各省庁に対して協議中の事業等もございます。それにつきましては、ある程度補助金のメニューが確定した段階で予算計上していきたいと考えております。

- 6 番 事業内容が公用車の更新でありますとか、あるいは防犯、交通の啓発、図書の購入、パソコンの更新、そういったものが主なもので、若干、先ほど課長の方から国によっては、速やかに取り組むもの、まずそれからもって実施と、そのようなお考えのもとで、ただいま申し上げたものが補正の対象になっていると、そのようにお聞きいたしましたけれども、私、もう少し、経済危機対策の臨時交付金ですから、景気が回復するようなメニューというものはなかったのかどうか。あるいは、もっと地域が発展するようなメニューというものはなかったのか、そのあたりについて、再度お尋ねいたします。

企画財政課長 ご指摘のように、今回の補正予算の内容につきましては、限られた事業内容となっております。根本的に、今回の経済危機対策につきましては、あくまで国費によって対応することとされておるところでございます。そういった中でも、地方公共団体として、国庫補助金を活用して事業を行っていく場合に、どうしても地方負担がついてまいりますので、これらにつきましては、冒頭にご説明申し上げました公共投資臨時交付金ですとか、経済危機対策臨時交付金、こういったものも用意されておるわけでございますけれども、どうしてもいろんな事業をやっていくという場合になりますと、国庫補助金に加えまして、地方債を活用したり、一般財源をつぎ足していく必要が出てまいります。これまでの、例えばバブル崩壊後の経済対策のころにおきましては、各地方公共団体とも国庫補助金と、それから補正予算債、こういったものをフルに活用いたしまして、いろんな公共事業等も実施してきました。それが結果的に現状の地方債残高という形で残っておるわけですが、こういったものと三位一体の改革、これらによって非常に現状の厳しい財政状況になってきているというところがございます。

こういった中で、今回の経済危機対策でありますけれども、これにつきましては、本町だけではなく、ほとんどの団体も同じ状況かと思っておりますけれども、それ以上に単独事業をつぎ足すという財政的な余裕がかなりないのではないかとこのところがございます。そういった中で今回、経済危機対策を考えていくわけですが、基本的には国庫補助金を活用していった中で、より地方負担額が少ないというような形、そういった中で効率的に福崎町の懸案事業を解決できる事業という選択にならざるを得ないと考えております。

- 6 番 今の経済対策につきましては、国費をもって対応すると、そのような答弁だったんですけれども、私は国と地方があわせてこのたびの大不況を乗り切るための手だてとして15兆円もの国が補正予算を組んでいるのではないかと、そのような認識をしてございます。

本町の経済危機対策臨時交付金の限度額は先ほど説明ありましたように1億1,586万3,000円となっておりますが、今回の補正の国庫支出金は、8,620万円計上されております。限度額との差額が3,326万3,000円ございますので、これにつきましては、9月議会で新たな補正措置をされるつもりがどうか、そのあたり。それで、今の時点でこういった事業を検討されているのか、はっきりわかれば、その点も踏まえて説明をお願いしたいと思います。

企画財政課長 経済危機対策臨時交付金につきましては、交付予定額の残額、ご指摘のように3,326万3,000円ございます。これにつきましては、9月補正で計上した

いと考えております。

内容につきましては、このたび経済危機対策が発表されて以降、各課に対しまして取り組める事業ということで、いろいろ調整をしまして、順次計上できるものから上げておりますけれども、今後につきましては、学校施設等の修繕、この辺がかなり大きなウエートを占めるのではないかと考えております。これら、またその他といたしましては、公共施設のテレビの地上デジタル対応、新型インフルエンザに係る経費、こういったものが主なものになってこようかと思っておりますけれども、いずれにしましても、事業内容等を精査した中で、9月補正で予算を計上したいと考えております。

- 6 番 学校の修繕が主なものと言われましたけれども、追って、もう少し先で質問したいと考えておりましたが、学校の耐震事業の絡み、今実施設計を補正で上げておられますが、その分の学校の修繕に結びつくものでしょうか。

企画財政課長 学校施設の耐震化工事につきましては、このたび計上しております実施設計ができました段階で、工事費を予算計上いたしますけれども、その財源といたしましては、文部科学省の補助金、これは2分の1の補助金がついてまいります。その残りにつきましては補正予算債、また公共投資臨時交付金等で考えていきたいと思っております。

あくまで、それ以外の小規模な修繕を、経済危機対策臨時交付金で考えていこうというところがございます。

- 6 番 今、学校施設耐震化事業で触れましたけれども、この補正の内容を見せていただきますと、福崎小学校あるいは田原小学校、福崎東中学校、おおむね昭和53年から55年にかけて建設された校舎、体育館等でございますが、その耐震化のための実施設計として、福崎小学校と田原小学校で、合わせて820万円、福崎東中学校で800万円が計上されております。実施設計を受けて、これらの実際の工事年度は、大体いつごろに検討されているのか、お尋ねしたいと思います。

学校教育課長 このたびの補正で実施設計をお願いしております。この実施設計ができ上がりましたら、先ほど企画財政課長が申し上げましたように、工事費の補正をお願いしたいということで考えております。

実際の工事につきましては、春休みから、22年度の夏休みにかけて実施できればということで、今現在計画をもっておるところでございます。

- 6 番 設計が終わったら、工事費を補正したいと、そのような説明をお聞きしたと思っておりますけれども、22年度の夏に実施されるとなれば、補正じゃなくても、当初予算で十分可能なのかなと思うんですが、そのあたりはどうでしょうか。

学校教育課長 3月にかかれるところはかかり、集中的には夏休みにやりたいという考えをもっております。繰越明許をして実施するというところで進めさせていただく予定で今考えております。

- 6 番 いずれにいたしましても、子どもの安全を確保するという、特に山崎断層を抱える福崎町でございますので、学校施設の耐震工事であることから、一日でも早く工事を着工していただきたい。私はこういった学校の耐震の工事でありますから、補正と言わずに、むしろ町長の専決処分に値する事案ではなかろうかとも思っておりますので、できるだけ早い機会に工事をお願いしたいと思います。

以上で補正に対する質問は終わらせていただきます。ありがとうございました。

議長 しばらく休憩いたします。

再開は10時50分といたします。



休憩 午前10時30分

再開 午前10時50分



議 長 会議を再開いたします。

議案第49号、平成21年度福崎町一般会計補正予算（第1号）について、ご質疑がございましたらどうぞ。

1 1 番 教育予算のところで、パソコンにかなりの資金を投入し、更新されるわけですが、これだけの設備と金をかけて、どの程度活用されておるのか、その活用状況についてお尋ねいたします。

学校教育課長 各学校におきましては、コンピューターの活用のための、コンピューター室を設けております。そのコンピューター室の使用頻度につきましては、ほとんどの時間しているような状況で、コンピューター室については活用度が本当に高い状況であります。

また、各教室におきましては、今後電子黒板等も購入いたしますので、そういったことで、より一層活用が図られると思います。教科ごとでは、理科、社会、英語活動等も今後入ってまいりますので、より一層コンピューター活用等が必要になってくると考えております。

1 1 番 幾度か授業の参観もいたしまして、プロジェクター等を使っただけの授業も見ました。私は古い考え方もかもしれないけれども、先生が黒板に白墨で書いて、先生の手から字や絵が出てくる、それを見ながら自分も帳面に写すという状況の方が頭に入るのではないかと、人間の脳に物事が記憶されるのは、見る・聞く・書く・使うという、人間の五感すべてに何回繰り返すかによって脳への記憶状況が強調されるわけですから、そういう意味では、アナログ化の方がよいのではないかと、いう思いも若干するわけです。まあ、それはそれとして、本当に5年ぐらいで更新しなければならないような状況なのかどうかと思うのですが、その点についてはいかがでしょうか。例えば、議員の控室なんか、パソコン置いてちょうだいと言ったら、1台置いていただいたけど、あれも役場の使い古しの、あれ何年前のやつや、議員が使うのはこれぐらいでよろしいというようなものですけどね。それでも使っていますが、本当に使用状況はどうか、よく使っておるということですが、それだけ使用効果がどのように評価が上がっておるのかという、その点について、これだけコンピューター教育をやって、これだけの効果が上がっていますという、そういうものはかれるものはあるのでしょうか。

学校教育課長 今の時代、コンピューター操作なり、コンピューターを使った活用がどうしても必要になってきております。いろんな形で子どもたちが教育課程の中で、コンピューターを操作、また活用することによって、今後社会的にも役立つ、時代のニーズに応じた必要性は当然、コンピューターの使用については感じております。そういった中で子どもたちもいろんな教科を通じて、コンピューターになれ親しむということは大切なことであると考えておまして、そういった形で効果も、子どもたちにも出ているととらえさせていただいております。

1 1 番 質疑ですから、繰り返し同じことを言うのも何ですけど、こういうシステムは日進月歩でありまして、子どもたちが何年かたって、社会に出てコンピューターを仕事として使うときにはもっと進んだものになっているわけですね。そんな意味では、それに対応できるようにするには、読み・書き・そろばん、きちっと日本の国語が理解でき、数学もでき、英語もできというふうには、基礎学力の充実ということが要ると思うんです。それがあれば、どんどん科学が進歩しても対応

できると思うんです。皆さんだって、仕事でコンピューターを使っておられるけど、子どものときにコンピューター教育を学校で受けたわけじゃないでしょう。皆さん子どものときから勉強をようしとっての方ですわ。基礎学力がついとるからです。笑い事じゃない、ほんまです。福崎町で一番大事な教育の課題は何ですか、すべての子どもたちに読み・書き・そろばん、基礎学力を充実させる、社会に出して恥ずかしくない生活習慣をきちっと身につけさせる、そのことがここ何年も重要だと議会で議論されてきたわけです。また、教育委員会でも議論になっているし、社会でも、保護者の間でも問題になっているわけです。このことに、これだけの投資をやってどう対応できるか、寄与できるのかと思うんですが、このコンピューター教育の中で、それらがプラスになりますか。

学校教育課長 当然、今言われますように、読み・書き・そろばんといった形での基礎・基本というのは、一番大切な分野の基礎であると思っております。そういった中で、それをより効果的に、また相乗効果させるためにも、コンピューターは時代の流れとして、教育的な観点からすれば必要であるという考えを持っております。

基礎・基本というのを念頭に置いて学校教育は取り組んでいくというのが基本であると思っておりますけれども、時代のニーズ、社会の情勢に応じた形で情報教育、そういったものも子どもたちにとっても必要であると考えております。

1 1 番 その点は、情報教育の必要性ということについては否定しませんが、一番重要なのは、基礎学力の充実と生活習慣を身につけさせるという教育の基礎が大事であり、そのことが今福崎町では問われているということを繰り返し言いました。

一方で、学校図書はまだ目標に達していないということですが、あとどれぐらい費用があれば、標準といいますか基準に達するわけですか。

学校教育課長 この20年度の補正で図書費の購入の予算計上をしていただきまして、今整備がほぼ、完了しておるような状況でございます。実際の冊数等についてはまだ報告を受けてないところがございますけれども、ほぼ小学校については、98%前後、もう100%に近い状況になっております。このたび補正予算で整備することによってほぼ達成するものと思っております。

中学校につきましては、東中学校が若干低い状況ですが、このたびの整備によって、100%に近づく状況です。

1 1 番 先ほど達していないというような説明を聞いたもんですから、お聞きしたわけです。緊急対策ということで、いろいろ、課題はあっても、何にでも使える予算ではないという制約があるのはわかりますけれども、今言いましたような福崎町の教育を考える上で、本当に、すべての子どもたちにきちっと基礎学力と、生活習慣を身につけさせるという上で、耐震化も含めて大きな予算を投入しよう、小修理もやろうということになってまいります。我々もその必要性を訴えてまいりました。そういう面で、教育委員会としては、5人の教育委員がおられるわけですが、教育委員会としてどんな議論がされて、この予算でお願いしようということになったのか。これが予算を生かして実行されれば、福崎町の教育をどんなふうに発展させようと検討されたのか、答弁を求めたいと思います。これは教育長に対してお願いいたします。

教 育 長 言われますように、読み・書き・そろばん、繰り返し学習は今の学校現場で一番大事な基礎を学び、身につける学習方法であるということは、常々教育委員会で議論しておりまして、学校現場にもこのことについて指導しております。例えば、読みのことでいきますと、朝の10分間、15分間の読書タイム、またはその10分間、15分間で簡単なドリルの繰り返し学習、これをどの学校でもやっております。読書習慣というのは非常に大事でして、この読解力をいかに小学校

段階でつけるか、このことが非常に重要であります。

もう1点は、コンピューターのことでありますが、今のICT教育は、避けて通れない社会の情勢であります。国も、県の教育委員会も、ICT教育については、非常に力を入れておまして、これは日進月歩の社会にあり、非常に大事なことであります。読み・書き・そろばん、繰り返し学習とICT教育はこれからもどんどん充実・発展させていかなければならん問題であります。教育委員会におきまして、このことについて学校現場で、さらに充実させていくように頑張っていきたいと思っております。

1 1 番 これだけの機材を入れて、それに対応する、指導できるそういう体制というのはあるのでしょうか。

教 育 長 正直言って教職員も多様であります。でも、このことについては避けて通れない教育の現場でありますから、ICTについて、県におきましても研修会が盛んに開かれておりますので、機材の使用については、これからも苦手な教員には研修を進めるように指導していきたいと考えております。

1 1 番 いずれにしても、福崎町では、教育が非常に注目されており、町民の皆さん方も期待もし、心配もしという状況であります。施設設備には、かなりのお金を投入してやるわけですから、それに対応して、教育委員会がしっかりと方針を打ち出して、頑張っていってほしいと思っております。大体、月に1回の教育委員会をやって、それも2時間か3時間ぐらい、半日ぐらいで終わるとという教育委員会ではあんまり期待ができませんかと、ちょっと思っております。正直な感想として、教育委員会のあり方についても言っておきます。

それから、アドプト誘導事業というようなことで、ちょっと書いてありましたけれど、工業団地関係の草刈り、周辺環境整備等で、そういう面では、企業との話し合いは進んでおるのでしょうか。

まちづくり課長 企業等アドプト誘導促進事業ということで、福崎工業団地内の周辺の景観とか美化、そういったことで、企業との間で協議を重ねております。そうした中で、まず町が木の伐採等を行いまして、その後は企業の方で管理をするということで、提案をさせていただいております。

1 1 番 具体的に、どの地域で、どの工業団地で話し合いができておるわけですか。

まちづくり課長 一般的には工業団地連絡協議会と話をしておりますが、具体的にはマンダムの裏あたりで、南側、町道ののり面の面積が非常に広いということで、今までなかなか企業も、町も、その管理が十分でなかったということでありまして、その中でこういった話がまとまりつつあるということでございます。

1 1 番 アドプトとか、いろいろボランティアとか、いろんな取り組みもありますが、公共機関の役割と責任というのは、しっかり果たすべきは果たすべきだと思っておるところでありまして、あと見守っていききたいと思えます。

緊急雇用創出事業につきましては、富田議員からも質問がありましたように、もう少し金額を計上して、そうして福崎町の幹線道路、河川等の環境整備にもっと注がれてもよかったのではないかという感じをちょっと持っておりますが、今後のご配慮をよろしくお願いしたいと思えます。

議 長 ほかにございませんか。

(「ありません」の声あり)

議 長 ないようでございますので、本案に対する質疑を終結いたします。

日程第6 討論・採決

- 議 長 次の日程は、討論・採決であります。
それでは、議案第49号、平成21年度福崎町一般会計補正予算（第1号）について、討論がございましたらどうぞ。
（「ありません」の声あり）
- 議 長 ないようでございますので、討論を終結し、採決を行います。
議案第49号、平成21年度福崎町一般会計補正予算（第1号）について、原案のとおり可決することに賛成の方は起立願います。
（起立全員）
- 議 長 起立全員であります。
よって、議案第49号については、原案のとおり可決することに決定をいたしました。
- 議 長 以上をもちまして、第424回福崎町議会臨時会に付議されました案件の審議は終了いたしました。
これにて第424回福崎町議会臨時会を閉会したいと思いますが、ご異議ございませんか。
（「異議なし」の声あり）
- 議 長 ご異議なしと認めます。
よって、第424回福崎町議会臨時会はこれにて閉会することに決定いたしました。
閉会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。
本日は臨時会が招集されましたところ、早朝からご参集を賜り、町長から提案のありました議案に対し、慎重審議をしていただき、適正妥当なる結論づけをいただき、まことにありがとうございました。
また、議事の運営につきましても格別のご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げますとともに、また議場の改修工事にもご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。
梅雨明けはしばらく先のこととなりそうでございますが、8月になりますと厳しい暑さがやってきます。皆様方におかれましては、健康に十分ご留意され、ますますのご精励とご活躍をご祈念申し上げまして、閉会のあいさつといたします。
最後に、町長からごあいさつをいただきたいと思っております。
- 町 長 議会の閉会に当たりまして、お礼を申し上げます。
今議会は、緊急経済対策に対応する補正予算案を提案させていただきました。幸い、皆様方の賛同を得ましたので、この内容をすぐ執行してまいりたい、このように考えております。なお、質疑の内容では、今後もこういう対策にはもっと力を入れるようにという励ましの言葉をいただいておりますので、全課で真剣に考えてまいりまして、もっともっと内容のある提案が9月議会、あるいはその後の議会でできますように努力をしてまいりたい、このように考えております。
いよいよ酷暑の夏がやってまいります。皆様方におかれましては、体に十分留意されまして活躍されますことを心から願って、お礼のあいさつとさせていただきます。
ありがとうございました。
- 議 長 これにて閉会いたします。
皆様、お疲れさまでございました。

閉会 午前11時10分

上記会議録は、書記の作成したものであるが、内容の正確を証するため署名する。

平成21年7月23日

福崎町議会議長 宇 崎 壽 幸

福崎町議会議員 釜 坂 道 弘

福崎町議会議員 東 森 修 一